

大輪の花が地域に元気を届ける

◎一希を起こす会ひまわり畑



8月上旬、日吉一希を起こす会が植えたひまわりが満開を迎えました。

一希を起こす会では地域活性化に繋げようと、平成27年度から耕作放棄地だった上鍵山の田んぼで毎年ひまわりの種を植えています。今年は6月5日、約20aの土地に2kg分のひまわりの種を植えました。

満開だったひまわりは、台風9号の影響で傾いてしまい、綺麗に咲いていた期間は短かったものの、力強い黄色の花を咲かせたひまわりが、地域に元気を届けていました。

聖火ビジットが大雨により中止

◎パラリンピック聖火フェスティバル

パラリンピックの聖火の元となる火が展示される聖火ビジットは、8月13日、日吉産地で開催を予定されていましたが、前線停滞に伴う大雨警報が発令されたため中止となりました。

イベントは中止となりましたが、「南予の火」として、西予市で採火された火は、鬼北町を訪れ、その後、8月15日に県庁本館前で行われた集火・出立式において「愛媛県の火」となり東京へ送られました。



新型コロナ対策事業に活用

◎宇和島ひめぎん会支援金贈呈

宇和島ひめぎん会から鬼北町へ新型コロナウイルス対策事業支援金が贈られました。

宇和島ひめぎん会は、愛媛銀行と取引がある宇和島圏域の企業で組織されています。新型コロナウイルスの影響により、会の活動が難しくなっていたことから、活動費の一部を宇和島市、鬼北町、松野町、愛南町に贈ることを決めました。

8月27日、宇和島ひめぎん会の代表幹事である南豫通運株式会社の兵頭謙太郎代表取締役会長から兵頭町長に目録が贈呈されました。受け取った支援金は町の新型コロナ対策事業に大切に使われます。

